

資料 38

人吉新聞記事 2025年12月12日

2025年(令和7年)12月12日 金曜日



不信任案を賛成多数で可決する球磨村議会

球磨村議会

松谷村長の不信任案可決

復興途上の村政 重大局面へ

球磨村議会(定数10、欠員1)は12月定例会最終日の12日、松谷浩一村長に対する不信任決議案を賛成多数で可決した。採決は議長を含む賛成8、反対1だった。地方自治法の規定により、松谷村長は10日以内に議会を解散しなければ失職する。豪雨災害からの復興途上にある村政は、トップの進退を問う重大局面を迎えた。
(あす詳報)

同議会はことし6月、村政の混乱を理由に村長への辞職勧告をすでに可決していた。

今回の不信任案は「その後改善が見られず、決議案提出に先立つて提出され、より重い措置となる。

不信任決議の理由として提案者の高澤康成副議長は「一連の問題が続いている」とち、行政運営を検証し取り上げ、強引な手法により職員との信頼関係が崩壊し、役場内の士気低下と行政停滞を招いている現状を厳しく指摘。「政治的判断能力の乏しさにより、復旧復興の方向性が見えない」と断じた。

同日、上藤宏副村長に対する2度目の辞職勧告決議も可決された。松谷村長は閉会後、「真摯に受け止め、今後は時間をかけて考えて判断し報告したい」と述べ、進退については明言を避けた。

The image contains multiple panels of newspaper text and photographs. The top right panel features a large headline in bold characters: '解散が失職迫られる決断' (Decision to dismiss forced by dissolution). Below it is a sub-headline: '不信任可決、師走の村政緊張走る' (Village politics tension rises as no-confidence vote passes in December). The main text discusses Matsukura Village's leader, Matsukura, being forced to resign due to a no-confidence vote. It includes quotes from Matsukura and other officials, as well as descriptions of the village council meeting where the vote was held.